



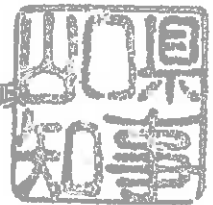
別記様式 第1号 (第4関係)

平成31年度消費・安全対策交付金交付申請書

平 31 畜産振興第 64 号
平成31年(2019年) 4月 17日

中国四国農政局長 殿

山口県知事 村岡 嗣 取



平成31年度において、下記のとおり事業を実施したいので、消費・安全対策交付金交付要綱第4の規定に基づき、交付金18,729,000円の交付を申請する。

区 分	交付金額	備 考
I 食料安全保障確立対策推進交付金	円 18,729,000	
II 食料安全保障確立対策整備交付金	0	
合 計	18,729,000	

記

- I 交付金の目的
別添「事業実施計画書」のとおり
- II 交付金の内容及び計画
別添「事業実施計画書」のとおり

別紙様式第1号-3

都道府県等名 山口県	
目標 安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進	
目 標 値	
現状（30年度）	事業実施後（31年度）
・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 1 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1	・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 1 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1
事業の必要性及び目標値の考え方	
【事業の必要性】 山口県内には農用地土壌汚染対策地域はなく、また、過去に国等が実施した調査で0.4mg/kg を超過する米中カドミウムが検出された「重点調査」の対象地域はないものの、0.2mg/kg 以上の「リスク管理上調査することが望ましい地域」が一部に存在している。一方、食品衛生法における「米のカドミウムの成分規格」が1.0mg/kg から0.4mg/kg に引き下げられた際の経緯として、将来的には0.2mg/kg を下回る米づくりが求められている。このため、これまでカドミウム低減対策として湛水管理を実施してきたが、用水不足等により湛水管理の徹底が困難な地域への技術対策が必要である。そこで、カドミウム対策として期待されているカドミウム低吸収性イネの実証試験に取り組む必要がある。平成31年度は前年と同じほ場、同じ管理での年次変動の調査を行う。 【目標値の考え方】 ◆カドミウム低吸収性イネの実証試験のこれまでの取組状況及び本年度の実施計画 【29年度】 実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ 試験内容：異なる水管理手法（湛水管理・間断灌漑）によるカドミウム吸収抑制効果と栽培課題の把握 ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）1区、間断灌漑1区 ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 【30年度】 実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ 試験内容：異なる水管理手法（湛水管理・間断灌漑）によるカドミウム吸収抑制効果と栽培課題の把握 ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 【31年度】 実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ 試験内容：異なる水管理手法（湛水管理・間断灌漑）によるカドミウム吸収抑制効果と栽培課題の把握（年次変動調査） ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区	

- ◆ カドミウム濃度低減技術に関するこれまでの検討状況と本年度の取組計画
・協議会の開催

【29年度】

開催時期：29年6月開催（1回）

参集範囲：県、JA山口中央会、全農山口県本部

検討内容：前年度の取組（出荷前自主検査結果、指導内容等）及び本年度の取組（出荷前自主検査計画、指導方針等）について

【30年度】

開催時期：30年6月開催（1回）

参集範囲：県、JA山口中央会、全農山口県本部

検討内容：前年度の取組（出荷前自主検査結果、指導内容等）及び本年度の取組（出荷前自主検査計画、指導方針等）について

【31年度】

開催時期：31年6月開催予定（1回）

参集範囲：県、JA山口中央会、全農山口県本部

検討内容：前年度の取組（出荷前自主検査結果、指導内容等）及び本年度の取組（出荷前自主検査計画、指導方針等）について

- ・栽培マニュアルの作成時期、部数
32年12月を目標に50部作成予定

事業メニュー及び交付金要望額

事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・ 規模等)	所要額 (円)	交付金 要望額 (円)	交付率
山口県	(1) カドミウム低吸収性イネの実証・普及	・カドミウム低吸収性イネの実証試験 ・実証効果の把握（土壌調査、作物体調査）、協議会の開催	1,185,000	1,180,000	10/10
		合計	1,185,000	1,180,000 「該当なし」	

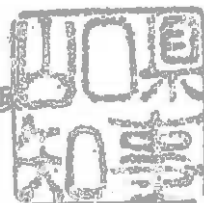
別記様式 第1号 (第4関係)

令和2年度消費・安全対策交付金交付申請書

令2畜産振興第149号
令和2年(2020年)5月14日

中国四国農政局長 殿

山口県知事 村岡 嗣



令和2年度において、下記のとおり事業を実施したいので、消費・安全対策交付金交付要綱第4の規定に基づき、交付金20,250,000円の交付を申請する。

区 分	交付金額	備 考
I 食料安全保障確立対策推進交付金	20,250,000 円	
II 食料安全保障確立対策整備交付金	0	
合 計	20,250,000	

記

- I 交付金の目的
別添「事業実施計画書」のとおり
- II 交付金の内容及び計画
別添「事業実施計画書」のとおり

別紙様式第1号-3

都道府県等名 山口県	
目標 安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進	
目 標 値	
現状（令和元年度）	事業実施後（令和2年度）
・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 1 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1	・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1
事業の必要性及び目標値の考え方	
【事業の必要性】 これまでカドミウム低減対策として湛水管理を実施してきたが、湛水管理では逆にヒ素がコメに吸収されやすいことが知られており、コメ中ヒ素濃度の国内基準値の設定の可能性が高まる今、カドミウムとヒ素を同時に低減する技術の確立が急務となっている。そこで、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウムおよびヒ素濃度の同時低減技術の実証試験を行う。 【目標値の考え方】 カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と栽培課題の把握 【コシヒカリ】 実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ。 試験内容： ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 【きぬむすめ】 実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：西海IL7号、きぬむすめ 試験内容： ① 西海IL7号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 【協議会の開催】 開催時期：令和2年6月開催予定（1回） 参集範囲：県、JA山口県、山口中央会、全国農業協同組合山口推進課 等 検討内容：前年度の取組（出荷前自主検査結果、指導内容等）及び本年度の取組（出荷前自主検査計画、指導方針等）について	

事業メニュー及び交付金要望額					
事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・規模等)	所要額 (円)	交付金 要望額 (円)	交付率
山口県	(1) カドミウム低吸収性イネの実証・普及	・カドミウム低吸収性イネの実証試験 協議会の開催	1,681,000	1,681,000	10/10
		合計	1,681,000	1,681,000 「該当なし」	

別記様式 第1号（第4関係）

令和3年度消費・安全対策交付金交付申請書

令 3 畜 産 振 興 第 119 号
令和3年(2021年)4月22日

中国四国農政局長 殿

山口県知事 村 岡 嗣 政

令和3年度において、下記のとおり事業を実施したいので、消費・安全対策交付金交付要綱第4の規定に基づき、交付金26,817,000円の交付を申請する。

区 分	交付金額	備 考
I 食料安全保障確立対策推進交付金	円 26,817,000	
II 食料安全保障確立対策整備交付金	0	
合 計	26,817,000	

記

- I 交付金の目的
別添「事業実施計画書」のとおり
- II 交付金の内容及び計画
別添「事業実施計画書」のとおり

別紙様式第1号-3

都道府県等名 山口県	
目標 安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進	
目 標 値	
現状（令和2年度）	事業実施後（令和3年度）
・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1	・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1
事業の必要性及び目標値の考え方	
【事業の必要性】 これまでカドミウム低減対策として湛水管理を実施してきたが、湛水管理では逆にヒ素がコメに吸収されやすいことが知られており、コメ中ヒ素濃度の国内基準値の設定の可能性が高まる今、カドミウムとヒ素を同時に低減する技術の確立が急務となっている。そこで、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウムおよびヒ素濃度の同時低減技術の実証試験を行う。 【目標値の考え方】 カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と栽培課題の把握 【コシヒカリ】 実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ 試験内容： ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 【きぬむすめ】 実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：西海IL7号、きぬむすめ 試験内容： ① 西海IL7号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 【協議会の開催】 開催時期：令和3年7月開催予定（1回） 参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課 等 検討内容：前年度の取組（出荷前自主検査結果、指導内容等）及び本年度の取組（出荷前自主検査計画、指導方針等）について	

事業メニュー及び交付金要望額					
事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・ 規模等)	所要額 (円)	交付金 要望額 (円)	交付率
山口県	(1) カドミウム低吸収性イネの実証・普及	・カドミウム低吸収性イネの実証試験 協議会の開催	1,773,000	1,773,000	10/10
		合計	1,773,000	1,773,000 「該当なし」	

別記様式 第2号（第7関係）

令和4年度消費・安全対策交付金交付申請書

令4畜産振興第 112号
令和4年(2022年)4月21日

中国四国農政局長 殿

山口県知事 村岡 嗣 政

令和4年度において、下記のとおり事業を実施したいので、消費・安全対策交付金交付等要綱第7の規定に基づき、交付金22,627,000円の交付を申請する。

区 分	交付金額	備 考
I 食料安全保障確立対策推進交付金	円 22,627,000	
II 食料安全保障確立対策整備交付金	0	
合 計	22,627,000	

記

- I 交付金の目的
別添「事業実施計画書」のとおり
- II 交付金の内容及び計画
別添「事業実施計画書」のとおり

別紙様式第1号-3

都道府県等名 山口県	
目標 安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進	
目 標 値	
現状（令和3年度）	事業実施後（令和4年度）
・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2	・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2
・カドミウム低吸収性イネの取組数 1	・カドミウム低吸収性イネの取組数 1
事業の必要性及び目標値の考え方	
【事業の必要性】 これまで本県では、カドミウム低減対策として湛水管理を実施してきたが、湛水管理では逆にヒ素がコメに吸収されやすいことが知られており、コメ中ヒ素濃度の国内基準値の設定の可能性が高まる今、カドミウムとヒ素を同時に低減する技術の確立が急務となっている。そこで、令和3年度まで、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせた同時低減技術の実証試験を行った。 カドミウム低吸収性イネは品種特性上、マンガンが吸収されにくく、この欠乏に起因するごま葉枯病の発生を助長しやすいことが知られているが、低吸収イネにおけるマンガン資材の投入効果等に関する知見は現状少ない。 そこで、今年度はカドミウム及びヒ素の同時低減技術に併せて、マンガン資材の施用による効果について実証試験を行う。 【目標値の考え方】 カドミウム・ヒ素の同時低減技術確立に向け、令和3年度までの実証の結果、作業性の向上も考慮しつつ一定の収量および品質確保が可能な水管理方法について整理した。 令和4年度は現地での普及を見据えて、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と、栽培上課題となる病害等への対応として、マンガン資材の施用効果を検証する。 ○ カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と栽培課題の把握の取組 <令和2年度> 【コシヒカリ】 実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ 試験内容： ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 【きぬむすめ】 実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：西海IL7号、きぬむすめ 試験内容： ① 西海IL7号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区 ・実施箇所数 試験場内：1ほ場	

<令和3年度>

【コシヒカリ】

実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ

試験内容：

- ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区

【きぬむすめ】

実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：きぬむすめ環1号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
- ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区

・実施箇所数 試験場内：1ほ場

<令和4年度>

【コシヒカリ】

実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ

試験内容：

- ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
資材有区（間断灌漑）2区、資材無区（間断灌漑）2区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区

【きぬむすめ】

実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：きぬむすめ環1号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
資材有区（間断灌漑）2区、資材無区（間断灌漑）2区
- ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区

・実施予定箇所数 試験場内：1ほ場

【協議会の開催】

<令和2年度>

開催時期：令和2年8月6日

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課

検討内容：重金属が超過時の対応、昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和3年度>

開催時期：令和3年2月

開催方法：書面開催

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和4年度>

開催時期：令和4年7月開催予定（1回）

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課 等

検討内容：前年度の取組（出荷前自主検査結果、指導内容等）及び本年度の取組（出荷前自主検査計画、指導方針等）について

【マニュアルの作成】

指導者用のマニュアルを作成する。

事業メニュー及び交付金要望額

事業実施主体名	事業メニュー	事業量 （規格・ 規模等）	所要額 （円）	交付金 要望額 （円）	交付率
山口県	(1) カドミウム低吸収性イネを用いたカドミウム及びヒ素濃度の同時低減技術の実証・普及	・カドミウム低吸収性イネの実証試験 協議会の開催	1,773,000	1,773,000	10/10
		合計	1,773,000	1,773,000 「該当なし」	

別記様式 第2号－1（第7関係）

令和5年度消費・安全対策交付金交付申請書

令 5 畜 産 振 興 第 84 号
令和5年(2023年)4月20日

中国四国農政局長 殿

山口県知事 村 岡 嗣 政

令和5年度において、下記のとおり事業を実施したいので、消費・安全対策交付金交付等要綱第7の規定に基づき、交付金9,342,000円の交付を申請する。

区 分	交付金額	備 考
I 食料安全保障確立対策推進交付金	円 9,342,000	
II 食料安全保障確立対策整備交付金	0	
合 計	9,342,000	

記

- I 交付金の目的
別添「事業実施計画書」のとおり
- II 交付金の内容及び計画
別添「事業実施計画書」のとおり

別記様式第1号ー4

都道府県等名 山口県	
目標 安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進	
目 標 値	
現状（令和4年度）	事業実施後（令和5年度）
・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2	・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2
・カドミウム低吸収性イネの取組数 1	・カドミウム低吸収性イネの取組数 1
事業の必要性及び目標値の考え方	
【事業の必要性】 これまで本県では、カドミウム低減対策として湛水管理を実施してきたが、湛水管理では逆にヒ素がコメに吸収されやすいことが知られており、コメ中ヒ素濃度の国内基準値の設定の可能性が高まる今、カドミウムとヒ素を同時に低減する技術の確立が急務となっている。そこで、令和4年度まで、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせた同時低減技術の実証試験を行った。 カドミウム低吸収性イネは品種特性上、マンガンが吸収されにくく、この欠乏に起因するごま葉枯病の発生を助長しやすいことが知られているが、低吸収イネにおけるマンガン資材の投入効果等に関する知見は現状少ない。 令和4年度にマンガン資材施用の有無について比較したところ、施用区は植物体内のマンガン含有量が対照区より高く、「きぬむすめ環1号」の栽培ほ場においてはごま葉枯病の発生が軽減されており、一定の施用効果を確認できた。一方でカドミウム低吸収性イネは、間断灌漑の場合、湛水管理に比べてマンガン含有量が低く、落水等による土壌の乾燥で吸収抑制が生じていたと考えられた。 令和5年度以降は試験場の移転に伴い、新規ほ場での試験となる。今年度は、カドミウム及びヒ素の同時低減技術が可能な間断灌漑管理条件下で、マンガン資材の施用効果を引き続き確認する。また、「コシヒカリ環1号」は特性を概ね把握できたことから終了とし、供試品種に本県オリジナル品種「晴るる」にカドミウム低吸収性を付与した「山口11号」を新たに加えて検討する。 【目標値の考え方】 カドミウム・ヒ素の同時低減技術確立に向け、令和3年度までの実証の結果、作業性の向上も考慮しつつ一定の収量および品質確保が可能な水管理方法について整理した。 令和4年度以降は、現地での普及を見据えて、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と、栽培上課題となる病害等への対応として、マンガン資材の施用効果を検証中である。 ○ カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と栽培課題の把握の取組 <令和2年度> 【コシヒカリ】 実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ	

試験内容：

- ① コシヒカリ環 1 号：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区

【きぬむすめ】

実証試験：1 箇所（試験場 3.5a）、対象品種：西海 IL 7 号、きぬむすめ

試験内容：

- ① 西海 IL 7 号：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区
- ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区

・実施箇所数 試験場内：1 ほ場

<令和 3 年度>

【コシヒカリ】

実証試験：1 箇所（試験場 5a）、対象品種：コシヒカリ環 1 号、コシヒカリ

試験内容：

- ① コシヒカリ環 1 号：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区

【きぬむすめ】

実証試験：1 箇所（試験場 3.5a）、対象品種：きぬむすめ環 1 号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環 1 号：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区
- ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区

・実施箇所数 試験場内：1 ほ場

<令和 4 年度>

【コシヒカリ】

実証試験：1 箇所（試験場 5a）、対象品種：コシヒカリ環 1 号、コシヒカリ

試験内容：

- ① コシヒカリ環 1 号：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区
資材有区（間断灌漑）2 区、資材無区（間断灌漑）2 区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2 区

【きぬむすめ】

実証試験：1 箇所（試験場 3.5a）、対象品種：きぬむすめ環 1 号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環 1 号：湛水管理（通常管理）2 区、間断灌漑 2 区
資材有区（間断灌漑）2 区、資材無区（間断灌漑）2 区
- ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2 区

・実施予定箇所数 試験場内：1 ほ場

<令和 5 年度>

【きぬむすめ】

実証試験：1 箇所（試験場 5.0a）

対象品種：きぬむすめ環 1 号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環 1 号：間断灌漑（資材有 1 区、資材無 2 区）

② きぬむすめ（対照区）：間断灌漑（資材有2区、資材無2区）

【晴るる】

実証試験：1箇所（試験場5.0a）

対象品種：山口11号、晴るる

試験内容：

① 山口11号：間断灌漑（資材有2区、資材無2区）

② 晴るる（対照区）：間断灌漑（資材有2区、資材無2区）

【協議会の開催】

<令和2年度>

開催時期：令和2年8月6日

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課

検討内容：重金属が超過時の対応、昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和3年度>

開催時期：令和3年2月

開催方法：書面開催

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和4年度>

開催時期：令和5年3月開催（1回）

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課 等

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和5年度>

開催時期：令和5年8月開催予定（1回）

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課 等

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

【マニュアルの作成】

指導者用のマニュアルを作成する。

事業メニュー及び交付金要望額					
事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・ 規模等)	所要額 (円)	交付金 要望額 (円)	交付率
山口県	(1-2) 安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進 ア カドミウム低吸収性イネを用いたカドミウム及びヒ素濃度の同時低減技術の実証・普及	・カドミウム低吸収性イネの実証試験 協議会の開催	1,055,000	1,055,000	10/10
		合計	1,055,000	1,055,000 「該当なし」	

別記様式 第2号-1 (第7関係)

令和6年度消費・安全対策交付金交付申請書

令 6 畜 産 振 興 第 88 号
令和6年(2024年)4月16日

中国四国農政局長 殿

山口県知事 村 岡 嗣 政

令和6年度において、下記のとおり事業を実施したいので、消費・安全対策交付金交付等要綱第7の規定に基づき、交付金6,714,000円の交付を申請する。

区 分	交付金額	備 考
I 食料安全保障確立対策推進交付金	円 6,714,000	
II 食料安全保障確立対策整備交付金	0	
合 計	6,714,000	

記

- I 交付金の目的
別添「事業実施計画書」のとおり
- II 交付金の内容及び計画
別添「事業実施計画書」のとおり

別記様式第1号-4 (第6関係)

都道府県等名 山口県

目標 安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進

目 標 値

現状 (令和5年度)	事業実施後 (令和6年度)
・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2箇所 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1取組	・カドミウム低吸収性イネの実証試験実施箇所数 2箇所 ・カドミウム低吸収性イネの取組数 1取組

【事業の必要性】

これまで本県では、カドミウム低減対策として湛水管理を実施してきたが、湛水管理では逆にヒ素がコメに吸収されやすいことが知られており、コメ中ヒ素濃度の国内基準値の設定の可能性が高まる今、カドミウムとヒ素を同時に低減する技術の確立が急務となっている。そこで、令和4年度まで、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせた同時低減技術の実証試験を行った。

カドミウム低吸収性イネは品種特性上、マンガンが吸収されにくく、この欠乏に起因するごま葉枯病の発生を助長しやすいことが知られているが、低吸収イネにおけるマンガン資材の投入効果等に関する知見は現状少ない。

令和4年度にマンガン資材施用の有無について比較したところ、施用区は植物体内のマンガン含有量が対照区より高く、「きぬむすめ環1号」の栽培ほ場においてはごま葉枯病の発生が軽減されており、一定の施用効果を確認できた。一方でカドミウム低吸収性イネは、間断灌漑の場合、湛水管理に比べてマンガン含有量が低く、落水等による土壌の乾燥で吸収抑制が生じていたと考えられた。

令和5年度以降は試験場の移転に伴い、新規ほ場での試験となる。令和6年度は、令和5年度に引き続き、カドミウム及びヒ素の同時低減技術が可能な間断灌漑管理条件下で、マンガン資材の施用効果を引き続き確認する。また、「コシヒカリ環1号」は特性を概ね把握できたことから終了とし、供試品種に本県オリジナル品種「晴るる」にカドミウム低吸収性を付与した「山口11号」を新たに加えて検討する。

【目標値の考え方】

カドミウム・ヒ素の同時低減技術確立に向け、令和3年度までの実証の結果、作業性の向上も考慮しつつ一定の収量および品質確保が可能な水管理方法について整理した。

令和4年度以降は、現地での普及を見据えて、カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と、栽培上課題となる病害等への対応として、マンガン資材の施用効果を検証中である。

○ カドミウム低吸収性イネと水管理を組み合わせたカドミウム・ヒ素同時低減技術の実証と栽培課題の把握の取組

<令和2年度>

【コシヒカリ】

実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ

試験内容：

- ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区

【きぬむすめ】

実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：西海IL7号、きぬむすめ

試験内容：

- ① 西海IL7号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
- ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区

・実施箇所数 試験場内：1ほ場

<令和3年度>

【コシヒカリ】

実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ

試験内容：

- ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区

【きぬむすめ】

実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：きぬむすめ環1号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区
- ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区、間断灌漑2区

・実施箇所数 試験場内：1ほ場

<令和4年度>

【コシヒカリ】

実証試験：1箇所（試験場5a）、対象品種：コシヒカリ環1号、コシヒカリ

試験内容：

- ① コシヒカリ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌溉2区
資材有区（間断灌溉）2区、資材無区（間断灌溉）2区
- ② コシヒカリ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区

【きぬむすめ】

実証試験：1箇所（試験場3.5a）、対象品種：きぬむすめ環1号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環1号：湛水管理（通常管理）2区、間断灌溉2区
資材有区（間断灌溉）2区、資材無区（間断灌溉）2区
 - ② きぬむすめ（対照区）：湛水管理（通常管理）2区
- ・実施予定箇所数 試験場内：1ほ場

<令和5年度>

【きぬむすめ】

実証試験：1箇所（試験場5.0a）

対象品種：きぬむすめ環1号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環1号：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）
- ② きぬむすめ（対照区）：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）

【晴るる】

実証試験：1箇所（試験場5.0a）

対象品種：山口11号、晴るる

試験内容：

- ① 山口11号：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）
 - ② 晴るる（対照区）：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）
- ・実施予定箇所数 試験場内：1ほ場

<令和6年度>

【きぬむすめ】

実証試験：1箇所（試験場5.0a）

対象品種：きぬむすめ環1号、きぬむすめ

試験内容：

- ① きぬむすめ環1号：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）
- ② きぬむすめ（対照区）：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）

【晴るる】

実証試験：1箇所（試験場5.0a）

対象品種：山口11号、晴るる

試験内容：

- ① 山口11号：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）
 - ② 晴るる（対照区）：間断灌溉（資材有2区、資材無2区）
- ・実施予定箇所数 試験場内：1ほ場

【協議会の開催】

<令和2年度>

開催時期：令和2年8月6日

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課

検討内容：重金属が超過時の対応、昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和3年度>

開催時期：令和3年2月

開催方法：書面開催

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和4年度>

開催時期：令和5年3月

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課 等

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和5年度>

開催時期：令和6年3月

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課 等

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

<令和6年度>

開催時期：令和7年3月開催予定（1回）

参集範囲：県、JA山口県中央会、JA山口県、全国農業協同組合山口推進課 等

検討内容：昨年度の試験成績、今年度の取組について

【マニュアルの作成】

指導者用のマニュアルを作成する。

事業メニュー及び交付金要望額

事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・規模等)	所要額 (円)	交付金要望額 (円)	交付率
山口県	(1) カドミウム低吸収性 イネを用いたカドミウ ム及びヒ素濃度の同時 低減技術の実証・普及	・カドミウム低吸収性 イネの実証試験 協議会の開催	1,050,000	1,050,000	10/10
		計	1,050,000	1,050,000 「該当なし」	